

環境学習のフィールドワークとしての活用

子どもたちが、身近な自然とふれあう体験によって、身のまわりの自然や営みについて、生物の生息環境に目が向くようになり、自然や生物への関心が高まります。また、動物園や図鑑等の書籍を通しての知識を多く持っている児童も、環境学習のフィールドワークによる自然体験によって、自然の生物や、それをとりまく自然を実感できると思います。

エコロジカルポンドに来て、イメージマップ法で豊かな想像性を育みましょう！

イメージマップ法の具体例

【例】魚を中心とした場合



まず最初に、魚を思い浮かべたとするとその魚を描き、それを中心にして左の図のように連想を広げていきます。このようにして、想像力を豊かにしてゆく事ができます。

イメージマップ法は、自然とのふれ合いから、子どもたちがどのようなイメージを持っているかを調べる方法です。

エコロジカルポンド東側には専用駐車場があります。気軽に車を停めて、野鳥観察をしてみませんか。



お問い合わせ先
佐賀市清掃工場
TEL 0952-30-2430

リサイクル適性
 この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます

ようこそ エコロジカルポンドへ!!



一度来て見て
 体験しよう！



エコロジカルポンドっていったい何？

通常の公共事業主導型ではなく生態学的機能を有した調整池(エコロジカルポンド)や沼を整備した事業のことです。
 近年の都市開発の進展や、河川流域の水循環構造や野生生物の生息環境は自然生態系に大きな変化と影響をもたらしています。
 また、河川においては洪水流量の増大、集中化による水系別に偏り現象が生じる一方、水田、畑、山林、池沼等の減少に伴い野生生物の生息空間が狭められています。
 こうした問題に対し、人間と生物が共存しあえる社会資本整備を行うことを目的とした事業を実施し、生態系の環境を保全する事が可能となり、こうした事業を総称してエコロジカルポンドと称しています。



エコロジカルポンドで出会える生き物たち

ここでは多くの生き物が生活しています。その一部を紹介します。



カワラヒワ(通年)
全長:約14cm
体は全体に緑褐色。翼は、初列風切と次列風切の基部が黄色いので、飛ぶと黄色く大きな斑が出る。



ジョウビタキ(冬)
全長:約15cm
雄は、頭部が灰白色、顔、喉は黒、下面、腰、外側尾羽は橙色。雌は全体に灰褐色だが、下腹から下尾筒までと、上尾筒と外側尾羽が橙色。



シロハラ(冬)
全長:約24cm
上面は茶褐色、下面は淡褐色で外側尾羽の先に白斑がある。



ムクドリ(通年)
全長:約24cm
全体に灰黒色だが、頭、翼、尾は黒っぽい。顔には白色部がある。喉は白い。



コゲラ(通年)
全長:約15cm
頭上から後頭は灰褐色。体と翼の上面は黒褐色で背と翼には白い横斑がある。尾はくさび型。



チョウゲンボウ(冬)
全長:約33cm
雄は、頭と顔と尾が青灰色で、尾の先に太い黒帯がある。雌は、頭も尾も褐色で尾には数本の黒帯がある。



ツグミ(冬)
全長:約24cm
上面は暗褐色で、翼は栗色。肩斑はクリーム色で太く、黒い頸線がある。下面は白く、黒い斑がある。



モズ(通年)
全長:約20cm
上面は一律に赤褐色で、翼は黒褐色。白い頬と黒い通眼線が目立つ。



ヤマガラ(通年)
全長:約14cm
頭は黒と淡い黄褐色で、下面と背は茶褐色、翼と尾は青灰色。



アオサギ(通年)
全長:約93cm
正面からは白く見えるが、横、後ろからは灰色に見える。成鳥では首が白く、頭に黒い冠羽がある。



ダイサギ(通年)
全長:約90cm
白サギの中では最大、極端に頸が細長い。



カワセミ(通年)
全長:約17cm
頭上、頭から胸側の線、翼上面、尾は緑色で、背と上尾筒はコバルト色。目の後ろに橙色と白の斑がある。



コガモ(冬)
全長:約38cm
茶色の頭に緑の帯、尻の横に黄色い三角模様。



アオジ(冬)
全長:約16cm
上面は緑灰色で、下面は黄緑色を基調とする。



エコロジカルポンド

生態系に配慮した浮島をはじめ、多種多様な自然空間を創り出すことによって、新しい生息空間を誕生させました。

共存共栄の空間

どのような野鳥が観察できるの？

2015年12月6日に行って観察された鳥は、下記のとおりです。

オカヨシガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ミサゴ、カワセミ、ハシボソガラス、モズ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ウグイス、シロハラ、ムクドリ、ツグミ、カワラヒワ、イカル

鳥を見るためのワンポイントアドバイス

ポイント1 野鳥に出会うにはまず「意識して見る」ということが大切です。池の水面、水際、葦の上、電線、木のとっぺん等々、野鳥のどまっているところを知りましょう。はじめは、なかなか見つかりませんが、だんだんと上手に見つけられるようになります。

ポイント2 野鳥を見つけたら…
見分け方 ①大きさは、②体型、③色や模様で見分けます。

ポイント3 まずは3分間、耳を澄ませてみましょう。虫の声、鳥の声と自然の音に気づきます。野鳥の声を人の言葉に置き換えた「ききなし」も野鳥の声を楽しみながら覚える良い方法です。ウグイスの「ホーホケキョ」、ツバメの「虫喰って土喰って渋う」などです。



駐車場



セッカ(通年)
全長:約12cm
成鳥の夏羽は頭上りが褐色で、体上面は黄褐色に黒褐色の縦斑、体下面は淡い黄褐色である。冬羽は頭の上も黄褐色に黒褐色の縦斑となる。



アオジ(冬)
全長:約16cm
上面は緑灰色で、下面は黄緑色を基調とする。

野鳥観察小屋

浮島

浮島

池

よし群生地
おき群生地

歩道

車道